

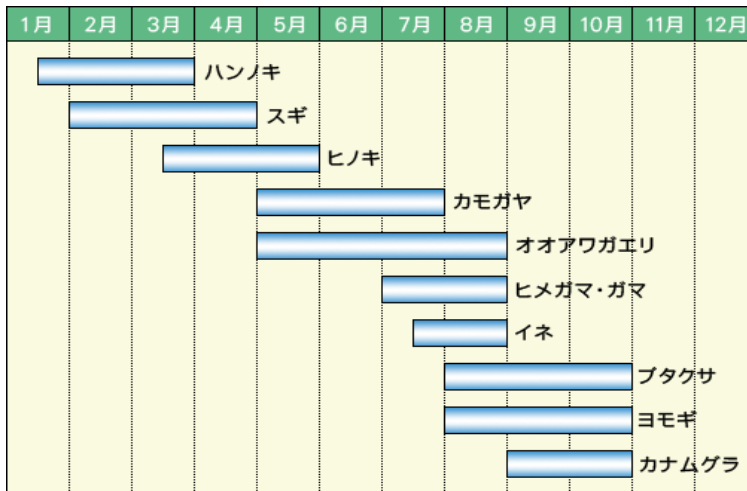
花粉症について

耳鼻咽喉科医長 樋口 雄将

春です！ 新入生、新社会人の季節です。大学では新歓コンパ、会社では新人研修、そして新職場に新配置。新しい仕事、新しい出会いありドキドキの季節です。

その一方、今年もこの季節が来たかと憂鬱になる人たちがいます。グシュグシュ、ハクシオン！
そうです、春は花粉症の季節なんです。

花粉症と言うくらいですから、花粉によるアレルギーです。ではどんな花粉があるのでしょうか。



本州における花粉カレンダーを示します。一番多いのはスギ花粉です。年にもよりますが大体ゴールデンウィークまで悩まされます。夏の花粉、秋の花粉もあり、人によっては自分の花粉症は「春より夏が本番よ！」という人もいます。

では治療法としてはどんなものがあるのでしょうか。

1) **花粉に曝されないようにする**

→予防の基本です。薬局ではこの時期、様々な防護グッズが並んでいます。

2) **薬を飲む**

→毎年花粉症の新薬が発売されており日進月歩です。眠くなりにくい薬もあります。

3) **点鼻薬を使う**

→ステロイド点鼻薬と血管収縮点鼻薬の2種類あります。

4) **減感作療法**

→以前は皮下注射でしたが、最近では舌下免疫法という簡便な方法があります。アナフィラキシーのリスクがあり、通常年単位での治療が必要になります。効果は議論の分かれるところですが、当科では現在行っていません。

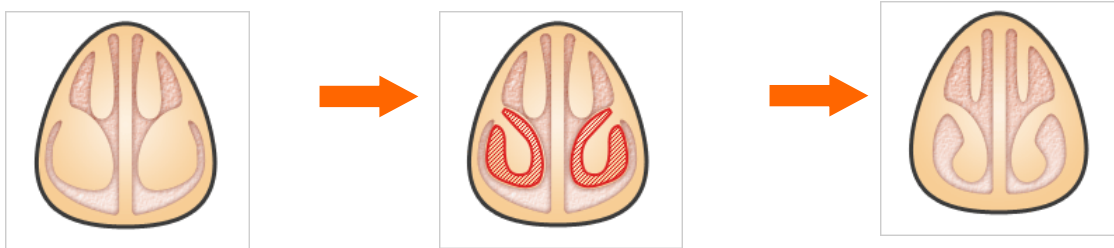


5) **レーザー焼灼術**

→実は減感作療法よりも安全です。効果は2-3年といったところです。

6) **下甲介粘膜切除術**

→当科で現在盛んに行っている手術です。鼻汁、くしゃみよりも鼻詰まりでお困りの患者さんが対象になります。一言で言うと「鼻を通す手術」です。



※鼻の組織図

上図の斜線部が粘膜で、その内側は骨です。骨と粘膜表面は残して、厚くなっている粘膜だけを専用の器械で削って吸引します。術後ガーゼを詰めますが、ガーゼ抜去後すぐに「鼻が通っている」ことを実感できます。この手術は局所麻酔で行うことができるリスクの低い手術なので、短期入院、日帰りでも可能です。また花粉症による鼻閉だけでなく、慢性的な鼻閉も適応になります。鼻閉のお悩みがあれば、ぜひ耳鼻科外来でお気軽にご相談ください。

《外来担当医表》

	月	火	水	木	金
午前	(耳鼻科医師)	樋口	樋口	小山	持ち回り(第1~3・5) 平石(第4)
		小山	鈴木	鈴木	(耳鼻科医師)
		鈴木	山中	山中	
午後	鈴木 (中耳炎)	鈴木 (音声・喉頭)	山中 (めまい)	小山 (いびき・無呼吸)	
	樋口 (嚙下)	樋口 (味覚・臭覚)	(ENG・特殊検査)	(ENG・特殊検査)	
		小山/中山 (副鼻腔炎・アレルギー)	(ABR・VEMP)	(補聴器外来)	

発行 東京都立広尾病院 広報委員会 〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿 2-34-10

TEL:03-3446-8331(予約専用番号) <http://www.byouin.metro.tokyo.jp/hiroo/>